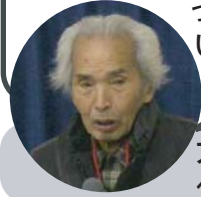


○インスペクターからのコメント(76回)

道路問題は、社会状況と密接に関連していて、簡単には解決できないことをひしひしと感じています。実際に工事から数年経過し、風の流れなどは十分シミュレーションできる状況ですが、自然の悪化や乾燥が進んでいる状況は見られません。社会状況など様々な問題も加味して進むべき方向が決まってくることを願っています。

岡村
インスペクター

これまでの経過を見てもわかるように、自然の回復というのは4年か5年経ったところで僅かしか違いがないんですよね。なかなか目の前に結果が現れてこない仕事をしているわけですが、だからこそ、地味だけれどやらなければいけないと思います。早く方向が決まってやるべきことを着実にやっていきたいですね。

大竹
インスペクター

道路計画というのは、一般的に長期的な予測の中で是非が議論されているので、少し長いスパンの視野に立って見極めて、判断していかないといけないのかな、と思っています。緑地全体をトータルで考えながら、少し長い目で見て、森と道路をどうするかということも議論する必要があると思いました。

藤田
インスペクター

今回、初めてフクロウが撮影されました。アカネズミを採りに降りてきた時かな？と想像しています。外から見たら、緑はあまり変わっていないように見えますが、中の生きものの質は変化しています。それに対して今後、私たちがどうやってアクションをとっていったらいいのか、ということも考えていきたいと思っています。

長谷川
インスペクター

◇フィールドワーク2～交通グループ～

車両走行時の音を測ってみよう！ ★2

シェルターの中と外を車が走行するときの音を計測しました。道路の端部と、森側に10m、20mの箇所の3地点の音を、シェルター内とシェルター外走行時について測りました。

シェルター内を試験的に走行中



速度は、30km、35km、40kmの3種類としました。

大気汚染の予測をしてみよう！

弥富相生山線の整備による影響が考えられる周辺の道路を数路線選んで、CO₂とNO_xの排出量を予測し、結果について話し合いました。



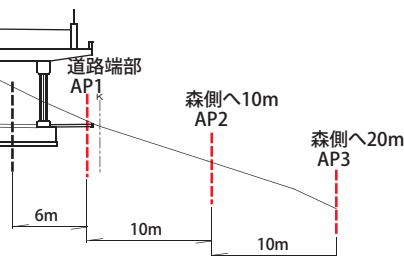
計測中...



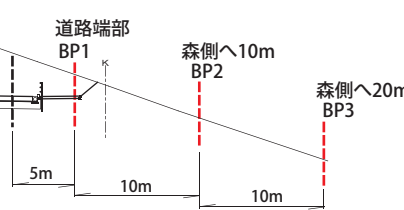
この結果を騒音予測の資料として検討していきます。

計測場所

地点A (シェルター構造部)



地点B (一般部)



今後、周辺区まで範囲を広げて、CO₂とNO_xの排出量の違いを算出してみようということになりました。引き続き、検討していきます。

◇フィールドワーク1～施工グループ～

沢すじの浸食状況の観測 ★1

沢すじの浸食状況を継続的に確認するため、場所を決めて断面形状の変化を見ることにしました。現在の断面形状を把握する方法として、測量を行いました。



レベル



スタッフ



レベル

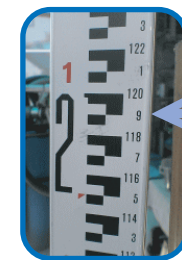


距離は、テープで測ります。

スタッフを持ってポイントに立ち、レベル(測量機械)でメモリを読み取って、高さを計測します。



「レベル」は、こんな機械です。



「スタッフ」にはこんな目盛がついています。

レベルは、「水準測量」と呼ばれる「高さを求める測量」に使います。高さを測りたい2点の間にスタッフを設置し、測定します。これを繰り返して各測点の高さを算出します。

横断面図
No.31+15.303

北
散策路

南

浸食している
土砂が堆積している

— 平成24年12月計測
--- 道路施工前計測 (平成15年度)

工事前の測量図と比較して、沢すじの変化を継続して見ていきます。

問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課内 「環境に配慮した道づくり」 施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話：052-972-2873 FAX：052-972-4168

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



●第76回施工ワーキング

平成24年12月2日(日)に第76回施工ワーキングを開催し、25名が参加しました。

今回は「学びの時間」で、各グループがこれまで実施してきたモニタリングについて確認し、グループ活動ではこれまでのデータから課題を抽出して今後の調査について検討しました。

《特集！》
植生回復 パート1
～シェルター構造上部～ p.2～3

第76回 プログラム

1. 前回の確認
2. 維持管理工事について
3. 環境デーなごやについて
4. 交通量調査結果の報告
5. 学びの時間
6. グループ活動

